

# あそんで学ぶ、守れる命。-宇和島防災かるた-

浅井このは 梶原美祐 川崎海璃 水崎倫太 毛利漣斗

指導者:有田真之介

## 研究の背景

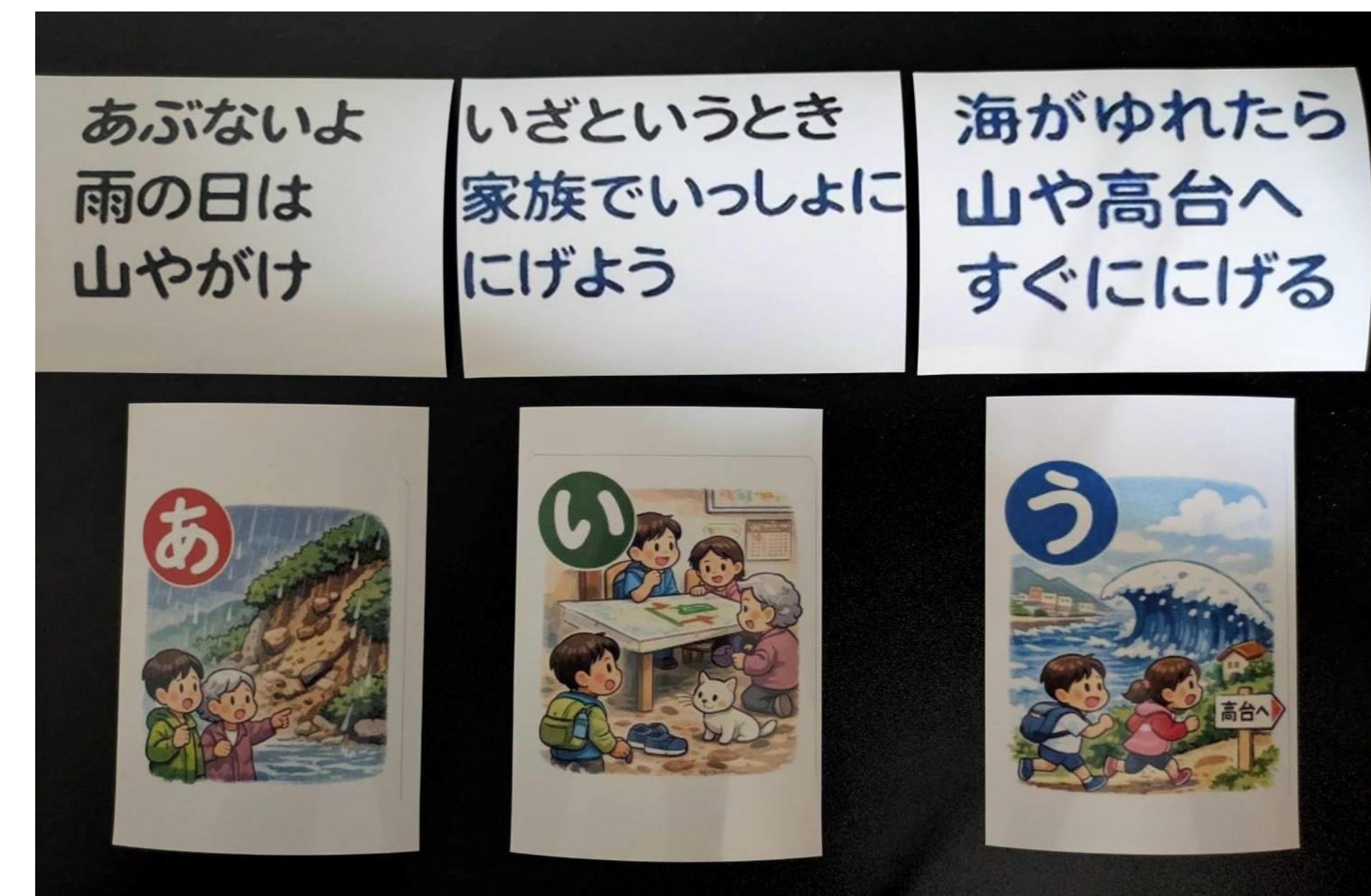
宇和島市では、防災について学ぶ取り組みが行われている。そこで、誰でも親しみやすい「**防災かるた**」を通して、防災をより身近なものにできるのではないかと考え、研究を行った。

## 仮説

防災かるたを作り、実際に遊ぶことで、防災を難しいものではなく身近なものとして感じることができるようになる。その結果、災害時に必要な行動や知識を自然に覚えることができる考えた。

## 現状

宇和島市では防災への取り組みが行われているが、**若い世代**を中心に意識が低く、避難場所を知らない人も多い。さらに、**南海トラフ地震**が起こる可能性が年々高くなっている中で、防災への備えが十分とは言えないのが現状である。そのため、**防災かるた**を通して楽しく防災意識を高めたいと思った。



## 今後の予定

今後は、防災かるたを実際に作成し、**小学生や中学生**に体験してもらう予定である。かるたを通して防災について考える機会をつくり、体験後には**アンケート**を実施する。その結果をもとに、防災かるたが防災意識の向上につながったかを調べ、今後の改善につなげていきたい。

## 防災意識低下による問題

防災意識が低下すると、災害が起きたときに行動が遅れ、**命の危険**が高まったり、どう動けばよいか分からず、地域の生活やまちの復旧にも時間がかかってしまう。